

コロナ感染拡大防止策 撮影進行上の注意点

全体としての注意点

- ・撮影にあたるスタッフは必要最小限にとどめる
- ・体調が悪いスタッフは出勤させない
- ・症状がないかを自身が確認後、各部署の上長に報告し制作スタッフに状況の報告をする
- ・撮影前の準備段階で、スタッフ同士のコミュニケーションをとり不測の事態がおこらないように心がける
- ・家からリモートで働けるスタッフがいるようであれば検討する
- ・準備やチェックの仕方等で今までよりも作業に時間がかかることを想定し余裕を持った香盤を組む

撮影当日の流れ

- ・スタジオ入室前に検温 →37.5度以上のスタッフは参加を見送る
- ・マスクを持参していただき、入室前に着用を義務付ける
制作スタッフは、予備を必ず用意
- ・入室前にアルコール洗浄および手洗いを実践する

撮影時の注意

- ・ドアはできるだけ開けておき換気を心がける
同録時や、常に開けておけない場合は、定期的に換気を心がける
- ・スタジオや打ち合わせ室の人の出入りをできるだけ制限する
- ・できる限り、人と人の間は2m以上の距離をとる
- ・咳やくしゃみなどの際は、口を覆う
- ・ティッシュ、消毒液などは複数個所に配置する
- ・パソコン、プリンタなどはできるだけスタッフの持ち物を使用する
- ・同時にセットに入るのは極力限られたスタッフにする
- ・撮影中、休憩時間等に、機材や小道具の消毒を行う
- ・電気のスイッチの操作、エアコンの操作をする人は、できるだけ限定する
- ・車の移動は他人に頼まない
- ・シーバーを使用する場合は、使用するシーバーを限定し、他人が使ったものを使用する場合は、消毒を行う
- ・出前や届け物がある場合は、建物の外で受け取る
- ・撮影クルーは、できるだけ自走する
- ・配布書類はメールにて配布する

食事時の注意

- ・食事は個包装のものにし、提供の仕方は時間差で行う等の注意を払う
- ・昼食時には、各人一定の距離を確保するようにする
- ・使い捨て紙皿やコップを使用し、他人のものは使用しない